

2023年1月4日

## 変革をやりきる人材を育て、世界トップクラスの機能性化学メーカーへ 新会社「レゾナック」発足で高橋社長が年頭挨拶

2023年1月1日、昭和電工と昭和電工マテリアルズ（旧日立化成）が統合し、持株会社の「株式会社レゾナック・ホールディングス」、事業会社の「株式会社レゾナック」（いずれも社長：高橋 秀仁）が誕生しました。当社は「化学の力で社会を変える」をパーパスに掲げ、世界トップクラスの機能性化学メーカーを目指しています。特に、半導体材料のグローバルリーダーとして成長を加速させるため、ポートフォリオ改革や新たな取り組みへの挑戦を進めます。発足にあたり、代表取締役社長の高橋が年頭挨拶をし、「レゾナックの誕生は第二の創業でありスタート。自律的・創造的に行動できる人材を育て変革を進める」と語りました。



(株)レゾナック・ホールディングス CEO 高橋秀仁

### ●半導体・電子材料のグローバルトップメーカー「レゾナック」

レゾナックグループは、売上高約1兆4,000億円のうち半導体・電子材料分野の売上高が約4,000億円を占めます。なかでも注目が集まる半導体後工程材料分野では、圧倒的な規模を持つグローバルトップメーカーです。

2社統合により、昭和電工の石油化学、黒鉛電極、基礎化学品などの安定収益事業に、昭和電工マテリアルズの半導体・電子材料という成長ドライバーが加わりました。川中に位置する昭和電工と、市場に近い川下に位置する昭和電工マテリアルズの統合により、統合決定以降、開発や生産での連携を進めてきており、CMPスラリーや銅張積層板などの分野ですでに成果が出てきています。

化学メーカーとして技術課題の解決を通じて持続可能な社会へ貢献するには、業種・業界の枠を超えた協調や連携が大切です。レゾナックグループは、「共創型化学会社」を目指しており、共創を通じた価値創出に取り組んでいきます。

### ●CEO 高橋からの年頭挨拶（要旨）

発足したレゾナックが目指すのは世界トップクラスの機能性化学メーカーです。そのために最も大事なことは、自律的・創造的に行動できる人材が育つ企業文化を醸成することです。

私はレゾナックを「レゾナックで働いているような人が欲しい」といわれる企業へ変革したいと考えています。戦略がコモディティ化している中で、戦略を実行し、やりきる人材がいるかどうかこそが競争力の源泉だからです。

昨年はパーパス・バリュー浸透のため、私も含めた経営陣が各拠点を訪問して直接意見交換を重ねてきました。さらに今年は、業務上の困りごとの解決策と一緒に考えるワークショップや、バリューに基づく人事制度、組織を越えたバリュー実践事例の共有、バリューを実践した事例の表彰などを開催します。

ウクライナ情勢や米中対立など社会のマクロ環境は中長期的に厳しい状況が予想されます。そのような中で、すでに挙げた「人材育成」に加えて重要な施策が「サステナビリティ」「DX（デジタル）」「マーケティング」です。これら4つは、全社で取り組むべきゆるぎない重要施策です。

サステナビリティは、世界トップクラスの機能性化学メーカーとなるための根幹です。地球環境の危機回避無くして、企業の持続的成長はありません。カーボンニュートラル達成に向けた取り組みをアップデートし、ポートフォリオマネジメントや事業・技術開発へサステナビリティ視点を導入し、ステークホルダーとの関係を強化します。

グローバルでの戦いにおいて、DXは欠かせません。開発や製造において、人間の経験や勤に代わりAI・MIが台頭しています。顧客との関係構築や販促にもデジタルは不可欠です。今年はDXを実現する基礎を固めて飛躍するための人材育成を強化します。

VUCAの時代、事業部の垣根を超えて顧客のニーズを把握し、求められる材料を開発していくことも必要です。研究開発とマーケティングの連携も強化し、「作る化学」と「混ぜる化学」の融合をさらに進め、社内外との共創を推進します。

共創に欠かせないのは、一人一人がプロフェッショナルとして、自律的に枠を超えて動くこと。社会を変え、当社を動かすリーダーは皆さん自身です。

レゾナック誕生は第二の創業であり、ゴールではなくスタートです。レゾナックグループ一丸となって邁進していきましょう。

## 【ご参考】

### ●新社名について

#### 1. 新社名

新会社は持株会社制としております。持株会社と事業会社の新しい商号は、それぞれ以下のとおりです。

持株会社

株式会社レゾナック・ホールディングス (Resonac Holdings Corporation)

事業会社

株式会社レゾナック (Resonac Corporation)

#### 2. 新社名に込めた想いとロゴ・スローガン



**RESONAC**  
Chemistry for Change

レゾナックは、「化学の力で社会を変える」をパーパスに掲げています。さまざまな社会課題を解決するための技術革新には、パートナーとの幅広い共創が欠かせません。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。

新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」を組み合わせることから生まれました。当社グループの持つ幅広く自在な先端材料テクノロジーと、

パートナーの持つさまざまな技術力と発想が強くつながり大きな「共鳴」を起こし、その響きが広がることでさらに新しいパートナーと出会い、社会を変える大きな動きを創り出していきたいという強い想いを込めています。

以上

【レゾナックグループについて】

レゾナックグループは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ化学会社です。2023年1月に昭和電工グループと昭和電工マテリアルズグループ（旧日立化成グループ）が統合し、新たなスタートを切りました。2021年度の売上高は1兆4千億円超、うち海外売上高が47%を占め、世界26の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

(株)レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

(株)レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 広報グループ 03-5470-3235